

短歌大募集 入選作品（大人の部）

※ 順不同

古墳なる 弘法山に 咲き満つる

さくらさくらに 酔ひゆく入ら

柳澤 洋子（塩尻市大門）

咲き満ちて 桜ももはや これまでと

息つめて終の 風を待ちをり

塩原 すみ子（塩尻市広丘）

満ち咲くを ひたすら待ちし 今日この日

友と見上ぐる 弘法の桜

丸山 かほる（塩尻市広丘）

桜祭り 提灯風に ゆらゆらと

弘法山は 浄土のごとし

洞派 里子（塩尻市洗馬）

桜咲く 空碧くさえ 亡夫思い

十年余過ぐる 吾老いづきぬ

村上 玲子（山形村）

遠き日に 桜の花に 呼ばれしか

吾が生れたる日 桜の満開

中村 永子（山形村）

咲き誇る 桜の花に キッスして

友と愛でゆく 古墳の花見

上條 さち子（山形村）

アルプスの 峰を遙かに 望みつつ

花に酔いしれ 古墳に憩う

百瀬 章（山形村）

五分咲きの 弘法山を 登り来る

園児らの声 空へ弾ける

荻上 憲治(山形村)

古墳を かこみ四千本の 桜咲く

とおきみ親も おどろき居らん

赤羽 敬一郎(松本市並柳)

咲き満ちて 風にあおられ 花吹雪

誘いこまれて 幽玄の境地

横山 美江子(松本市神田)

提灯に 明かりのつきし 弘法山

心浮き立つ 蕾み硬くも

岩田 恵子(松本市筑摩)

満開の 桜古墳に 吸い込まれ

花の回廊 時を忘れる

中山 典明(松本市泉)

弘法山の 花見に今年は 行きませうね

如月に母は 逝きてしまへり

小松 かつ子(塩尻市片丘)

幼子に 古墳見せんと 訪いし山

今風に舞う 桜愛しむ

後藤 貴志(松本市和田)

山一面 目にも鮮やか 満開の

古墳の桜 歴史をしのぶ

上條 美智子(松本市神田)

夕暮れの 千鹿頭池より 眺め居る

法山は 淡く華やぐ

原 健一(松本市島内)